

# 広報薬事委員会です

薬局業務において様々にDX化（デジタル技術を活用し新たな価値を創造する）が進行している中、広報についても、新たに導入を行った情報共有ツール「エスト」の活用や、電子版広報媒体の発行、行政や関係団体との連携に必要な情報共有の手段を探ってまいります



## 薬剤師会 会報 を作成しています

年4回 会員向けに発行し、市及び区薬剤師会の活動方針・内容、研修などの情報の共有を図っています

## 各種リーフレットを作成します

薬局を利用される方、市民・関係者向けに薬剤師会の活動を紹介するリーフレットなどを作成しています



「会報誌」の編集会議中です

## ホームページの編集を行います

最も身近な広報媒体として、見やすくわかりやすいホームページを目指して編集活動を行っています

## 記念誌の編纂を行います

市薬剤師会の長年の活動を記録して、後年の活動に資するよう、創立10年、20年、30年に発行しています

## こんな業務を担当しています

会員向け広報誌「**会報**」の発行を行っています  
活動を紹介する**リーフレット**などを作成しています  
長年の活動を記録する記念誌の編纂を行っています  
ホームページの編纂をしています



会報各号からの一部抜粋です



一般社団法人

# 川崎市薬剤師会

第144号  
令和7年12月

# 会報

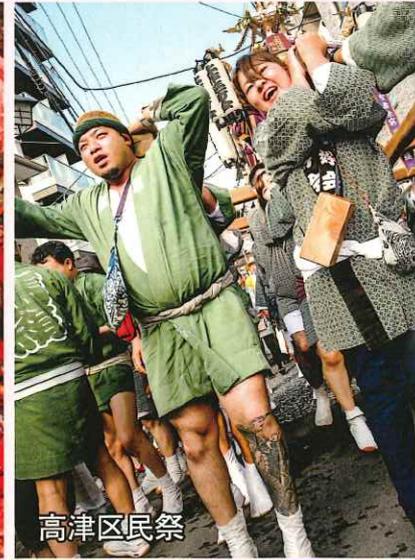


川崎市民公開講座「リンパケア実践セミナー」講師と運営スタッフ



秋の紅葉（溝口周辺）

高津区散歩



高津区民祭



秋の黄葉（溝口周辺）

## 薬剤師のための災害医療スキルアップセミナー① in 川崎 ～川崎市薬剤師会 災害薬事サポーター研修～

献血災害委員会 委員長 竹本 裕治

献血災害委員会では、2月21日（金）に『薬剤師のための災害医療スキルアップセミナー① in 川崎』と題して災害薬事サポーター研修を実施いたしました。

この災害薬事の研修会は、3回シリーズで大塚製薬と薬剤師会との共催で既に20以上の各地薬剤師会で開催されており、神奈川県では横浜市・相模原市・横須賀市につづく4市目の開催となります。3回の研修全て受講いただくと大塚製薬より修了証が発行されます。

また、本研修は、連携強化加算「災害や新興感染症の発生時等に医薬品の供給や地域の衛生管理に係る対応等を行う体制を確保すること」に該当する研修になります。

当日は、兵庫医科大学 危機管理医学講座 薬剤師 / 日本災害医療薬剤師学会 会長渡邊 暁洋 先生に『災害医療の現状 ～災害薬事の扉をあける～』というテーマで、ご講演いただきました。災害医療について、事例を交えて説明頂きました、地震発生時に対策を行っていない薬局がどうなるかなどのシミュレーション映像などわかりやすく説明して頂きました。

次に川崎市健康福祉局保健医療政策部 DMAT調整担当の小野 欽也 様より『川崎市の災害医療体制』をこちらも非常に具体的に実際災害が起きたときに川崎市はどのような体制をと

るのかの説明と現在、薬剤師会と協力している災害時の医薬品の供給体制について説明して頂きました。

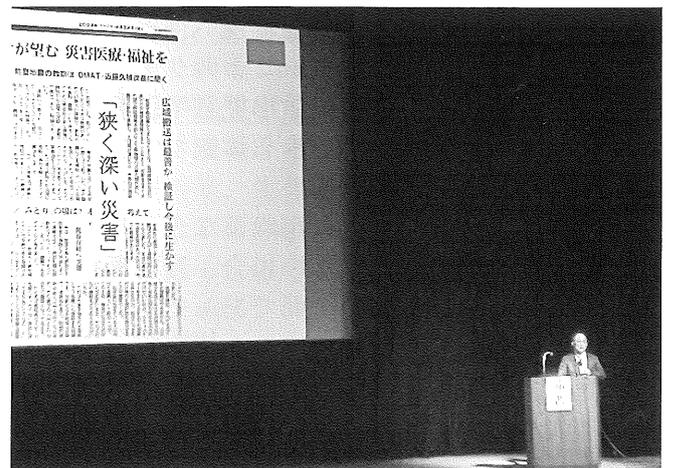
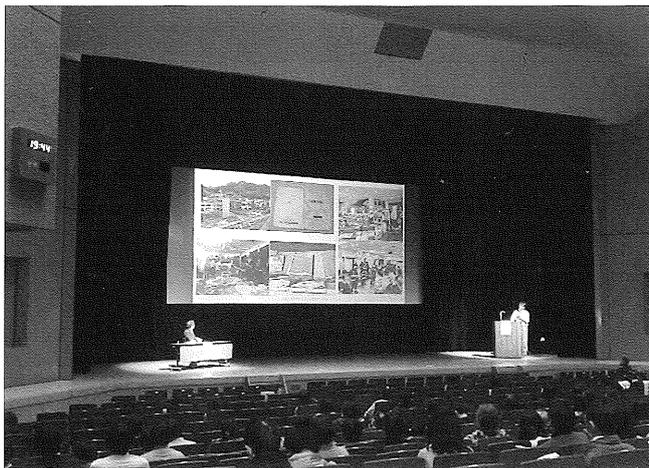
最後に日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科 副院長 / 川崎市災害医療コーディネーター 井上 潤一

先生に『災害医療の

現場で何故薬剤師が必要か』について、CSCA TTTまたはPPPなど基本的なところから事例を交えて災害現場での薬剤師の必要性を説明して頂きました。このように内容の濃い研修会で時間が足りないと感じてしまうほどでした。

2025年度には第2回の薬剤師のための災害医療スキルアップセミナー開催を予定しています。1回目参加出来なかった会員の皆様も災害時役に立つ知識が拾得できますので是非参加してください。

会員の皆様にご協力をお願いする機会が多い委員会ですが、6月には毎年実施しております献血活動を武蔵小杉駅で実施予定です。こちらの献血についても引き続きご協力いただきますようよろしくお願いいたします。





# 地域活動報告



## ★『たまたま子育てまつり』に初参加しました！

多摩区薬剤師会 溝口浩子（長岡第一薬局）

多摩区では秋のこの季節、毎年『たまたま子育てまつり』というイベントが開催されています。『たまたま子育てまつり』とは、多摩区でお子様を育てている若いパパさんママさん達に向けた、地域の子育てネットワークを広げるイベントで、多摩区総合庁舎において毎年9月の中旬の日曜日に行われています。歌や踊りのパフォーマンス、親子で作る工作、親子体操、読み聞かせ等々、沢山の催し物が行われます。

多摩区薬剤師会では、今回初めて参加させていただきました。

コロナ前までやっていた健康フェアはお年寄りの健康寿命を延ばすのを目的とし、骨健康度、血管年齢、脳年齢、お薬相談など、お年寄りをターゲットにしたイベントでしたが、子育てまつりは、若いパパ、ママが子連れでやって来ることを想定し、検査項目は骨健康度、ストレスチェック、脳トレゲームにし、こども調剤体験を初めて試みることに致しました。またオーバードーズのチラシも川崎市薬剤師会から沢山いただき、配布することにしました。

こども調剤体験の来場者数予測が難しい中、取りあえず、60枚の受付表を準備致しました。しかし次から次へと調剤体験をしたい親子連れが列をなし、受付は大混乱。

他の測定係をお願いしていた先生が助けに入ってくださいました。沢山用意したつもりのお菓子が途中で足りなくなり、買いに走ると言う嬉



しいハプニングもありました。

他の検査は、長蛇の列になることもなく、順調に進みました。中には子どもが調剤体験している合間にストレスチェックの列に並ぶお父さんもいて皆さんとても楽しそうでした。骨健康度101名、ストレスチェック69名、脳トレゲーム74名、こども調剤体験75名で初参加にしては大変有意義なイベントとなりました。

区役所2階のギャラリーという、一番人通りの多い場所を借りることができ、お手伝いいただいた先生方は皆さん大ベテランでしたので、お昼休憩もままならない状況の中、滞りなく順調に検査、調剤体験をこなすことが出来ました。視察に見えた市議会議員さんも大変喜んでおられたようです。

お手伝いの先生を増やし、お土産もパンフレットも沢山用意し、また来年も多摩区民の皆さんに貢献できたら嬉しいです。



# 薬局紹介

## パンジー薬局



中原区 村井 幸世

パンジー薬局は、東急東横線 元住吉駅から徒歩8分の場所に位置し、関東に8店舗展開しているsola株式会社のグループ薬局です。

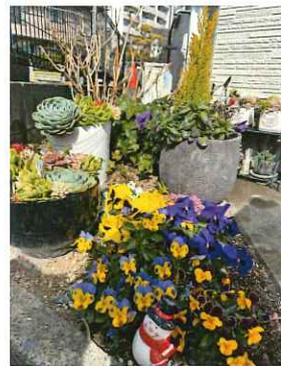
近隣の整形外科に加えて2024年2月に耳鼻咽喉科が新たに開院し、両科に受診されるお子様からご高齢の方まで幅広い年齢層の患者様にご利用頂いております。

また、内科・小児科や、関東労災病院の外来処方箋なども受けています。

地域に密着した薬局として、医薬品の提供・説明だけでなく、健康全般や育児・介護などの相談に応じたり、在宅の依頼も承っております。患者様一人ひとりの生活に寄り添うパートナーを目指し、「かかりつけ薬局・薬剤師」となれるよう、成長して参ります。

薬局前の花壇には冬から春にはパンジー、夏にはアジサイやサボテンが季節ごとに花を咲かせています。

パンジー薬局はそんな花壇の花のような、親しみやすくほっとする、和やかな雰囲気薬局づくりを心がけています。



### 編集後記

大阪万博が開催されています。思い出すのは55年前の大阪万博。便利で不思議な未来の世界、見たことのない知らない国々の文化を目の当たりにして、小学生の私は驚きとワクワクに胸を躍らせました。55年後の現在はというと…地球温暖化、頻発する大災害、終わらない紛争、戦争…あの頃描いていた未来の姿とは大きく違ってしまっているように思います。

せめて薬剤師の未来は明るくあれ、と願っています。

広報薬事委員会 副委員長 古川 恵子



天からのご褒美  
(武蔵溝ノ口駅付近)



妙楽寺の紫陽花  
(多摩区)

発行 一般社団法人 川崎市薬剤師会  
川崎市川崎区富士見1-1-1  
電話 (044) 211-2325  
発行人 伊藤 啓  
担当副会長 恵木 立  
担当常務理事 大貫 ミチ  
担当理事 斯波 晃介  
委員 成川 守 (委員長)  
古川 恵子 (副委員長)  
佐藤 晴子  
村井 幸世  
相羽 靖之  
鱈口 知子  
中村 正樹

Web <https://www.kawayaku.or.jp>

リーフレット：市民や関係団体の方々にお配りしています

一般社団法人

# 川崎市薬剤師会



安心してご利用頂ける  
かかりつけ薬局・薬剤師  
を目指して



令和6年10月20日(日)  
川崎アゼリアサンライト広場  
『くすりと健康フェアかわさき』



令和6年11月17日(日)  
エポックなかはら  
『市民公開講座』落語講座  
～笑いと健康～笑う門には福来る！～

病院・薬局には  
持って行こう！



## マイナンバーカード

【メリット①】  
服用している薬や検診結果等の情報提供に同意して頂く  
と重複している薬のチェック・薬の相互作用・より安全  
に服用するための判断ができるようになります。  
【メリット②】  
高額療養費の書類申請等の手続きが簡単になります。  
【メリット③】  
引越・就職・転職による保険証の切り替えが不要になり  
ます。※新しい保険者への加入の場合は変更が必要です

若者を蝕む

## オーバードーズ

ご存じですか？



医薬品などを決められた量より過剰に服用することを  
オーバードーズ (OD) といいます。厚生労働省などの  
調査によると OD による救急搬送が年々増加しており  
特に10代～20代の増加が特に目立ち、深刻な社会問題  
となっています。学校や職場での人間関係や家庭による  
悩みを抱えている若者が、手に入りやすい市販薬で OD  
をする事例が多く見られます。  
川崎市薬剤師会では薬物乱用防止キャンペーンとして  
OD の広がりや健康被害・命の危険がある事の啓蒙活動、  
また公立学校での授業などで薬の正しい知識をお伝えし  
ています。



川崎市薬剤師会事務局  
川崎市川崎区富士見1-1-1  
電話044-211-2325  
[kawayaku@alto.ocn.ne.jp](mailto:kawayaku@alto.ocn.ne.jp)  
←←川崎市薬剤師会ホームページ

川崎市薬剤師会のホームページでは  
お薬をお届けできる薬局や遅い時間に  
対応できるお近くの薬局が検索できます。

## ～川崎市薬剤師会の活動～

地域の医療・介護・災害対策・公衆衛生など  
のため、川崎市薬剤師会の会員が様々な研修や  
活動を行っていますのでご紹介いたします。

### ●社会保険委員会

医薬品の安全な服用のため、また様々な疾患や  
症例の検討などの研修を行っています。

### ●研修委員会

会員の生涯学習のバックアップ、様々な研修会  
の実施、また一般市民向けの市民公開講座を企画  
開催しています。

### ●献血災害委員会

献血活動のお手伝い、川崎市の防災訓練等に参  
加し災害時の医療スタッフとの連携確認や、医薬  
品の供給体制の確保等、緊急時対応の研修を行っ  
ています。

### ●介護支援委員会

ご自宅や介護施設などの様々な医療的ケアの充  
実、介護・福祉・公的サービスとの連携強化のた  
めの研修を行っています。

### ●地域活動委員会

駅前での薬物乱用防止キャンペーンの実施、各  
種測定器を活かした健康フェアを開催しています。

### ●休日急患薬局委員会

川崎市7区の休日急患診療所で薬の調剤を行  
っています。また多摩区役所内では夜間の業務  
も行っていきます。

### ●学校薬剤師部会

生徒が安全に学校生活を行えるよう環境衛生に  
関わる様々な検査を行っています。また薬の正し  
い飲み方・知識などの授業も行っていきます。

### ●広報薬事委員会

会員の様々な活動の紹介や各委員  
会、研修会の報告などを広報誌や  
ホームページを通じて発信して  
います。～川薬活動報告ブログ～  
活動の一部をご紹介→→

